

将来都市像の検討について

■経緯

①第3回審議会にて、事務局より以下の2案を提案。

事務局案1	Challenge & Creation	～新しい感性が息づく共創都市	ながはま～
事務局案2	とことん長浜	～あふれる愛	みんなで未来を創るまち～ ～みんなで創る みんなが好きになるまち～

②審議を行ったのち、当日のまとめとして、下記を基に事務局で再度検討を行うこととなった。

事務局預	ながはま Creation	～みんなで未来を創るまち～
------	---------------	---------------

委員からの意見	事務局の考え方と対応
①民間企業は既に色々と挑戦をしている。さらにチャレンジを課すというのか。	①既に挑戦されている方面に対しては、さらなる挑戦を求めるのではなく、その挑戦を支援し、伸ばしていきたい。
②市民に挑戦を課すのはおかしいし、しんどい。むしろ、長浜らしい落ち着いた生活を望んでいる。	②挑戦を「課して」いるのではなく、自由に挑戦「できる」土壌のあるまちづくりを目指したい。
③「創造」に「挑戦」は含まれており、「挑戦」の文言は削除してもよいのではないか。	③地方行政も大変革期を迎えるなかで、強制力を伴う意味ではないが、「前を向く、頑張る」という意味で「挑戦」の文言は入れていきたい。
④Challenge、Creationなどの英語はわかりにくい	④将来都市像を実現するための合言葉・謳い文句として、少しずつ浸透させていきたい。



■提案

③意見を踏まえ事務局及び職員ワーキングで再度検討を行い、下記のように提案。

- ✓将来都市像と、それを実現するためのキャッチフレーズとに分けて考える
- ✓挑戦や創造を「強制する」「課す」のではなく、「できる」「伸ばす」包容力のある環境を育みたい

●将来都市像：将来目指すまちのすがた

新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜

少子高齢化や人口減少社会の到来、経済・雇用状況の低迷、大災害の発生や地球環境の変化、自治体財政の逼迫など、閉塞感が漂う状況のなか、国をあげて、それぞれのまちの特性を生かした魅力ある地域づくりの取り組みがはじまっています。

このような時代において、本市が今まで育ててきた穏やかで和やかな暮らしを大切にしながらも、自然・歴史・文化などの地域資源や積極的に新しい物事へ取り組んでいこうとする進取の気性といった個性を生かして、これまでの枠組みや価値観を超えた自由な発想（新たな感性）で新しいまちづくりに挑戦し、一人ひとりの取り組み、そしてお互いが連携・協働した取り組みを大きな力として未来のまちの姿を創造していくことを目指し、長浜市の将来像を「新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜」と定めます。

●キャッチフレーズ：将来都市像を実現するための合言葉

市民をはじめ長浜のまちに関わるすべての人が、将来都市像「新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜」を実現するための合言葉として、「Challenge(チャレンジ=挑戦)&(アンド) Creation(クリエイション=創造)」を定めます。

チャレンジ & クリエイション
Challenge & Creation